

# 沖縄振興交付金事業等の内閣府点検評価結果

(令和5年度 期中点検)

事業名	留意事項
<p>【沖縄県】 ひとり親家庭生活支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や関係機関、地域コミュニティと連携強化を図り、より効率的、効果的な事業の実施や、きめ細かく充実した支援の提供に努めて欲しい。</li> <li>・支援を必要とする家庭のうち、支援が届いている家庭の割合の把握に努めて欲しい。</li> <li>・支援内容やプロセス等の質的な調査を行い、支援家庭に寄り添った内容になっていたか等を把握し、今後の実施内容の参考にして欲しい。</li> <li>・成果指標について、個人の収入は経済的・社会的要因によっても変動するため、収入以外の指標も検討してはどうか。</li> <li>・体験格差の視点も取り入れ、例えば、県や市町村の公立施設等とも連携協力し、支援家庭に様々な体験の機会を創出することも検討してはどうか。</li> </ul>
<p>【沖縄県】 沖縄耐候性園芸施設整備事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐候性園芸施設整備の低コスト化を、大学や県農業研究センター等の研究機関と連携し、推進して欲しい。</li> <li>・耐候性園芸施設の導入と農産物の生産量の因果関係も確認し、成果指標に追加することも検討してはどうか。</li> <li>・被害率の低減に要したコスト（1%低減に要した費用等）も確認し、成果指標に追加することも検討してはどうか。</li> </ul>
<p>【沖縄県】 スタートアップ・エコシステム構築支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有望なスタートアップ企業を引き上げ、発展段階に合わせて支援していくことが重要であり、コーディネーターの確保・育成にも力を入れて欲しい。</li> <li>・スタートアップ企業の生存率を確認するため、3年後、5年後の状況も追跡調査し、成果指標に追加することも検討してはどうか。</li> <li>・誰もが必要な支援窓口に容易に辿り着けるよう、広報やウェブ検索等を一層工夫して欲しい。</li> <li>・スタートアップの創出数が目標達成に至らなかったことについて、その理由や対策を確認し、今後の実施内容に繋げて欲しい。</li> <li>・ビジネスコンテストの非採択案件について、今後に関わるようフォローアップの実施も検討してはどうか。</li> <li>・スタートアップ案件の地域貢献や地域への波及効果（経済、福祉、環境、教育等）についても確認、検討してはどうか。</li> <li>・招聘した投資家が実際に投資した数（割合）について、成果指標に追加することも検討してはどうか。</li> <li>・事業効果を高めるため、アントレプレナーが切磋琢磨して学び合い、交流できるような仕組みの構築も検討してはどうか。</li> </ul>
<p>【沖縄県】 若年者活躍促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学等においても、インターシップや合同企業説明会等を実施しているところもあるので、大学等他の組織の取組内容との差別化又は連携し、より効率的・効果的な事業の実施を検討してはどうか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年者は、就職活動や情報収集を、オンラインで行う割合が高いため、オンラインによる広報の充実や支援の仕組みも検討してはどうか。</li> <li>・卒業年次に満たない学生等に対してもインターンシップ等各種支援事業の活用を積極的に促して欲しい。</li> <li>・県内企業と連携し、ジョブトレーニング等受講者に対しては、証明書を発行する等、採用に当たってのインセンティブを付与することも検討してはどうか。</li> <li>・小中学生に対しては、将来の労働需要に沿った職業能力を高めるプログラムの提供が有効であり、より効果的な実施内容となるよう工夫して欲しい。</li> <li>・新規学卒者（20代）とその後の世代（30代）では、職業選択やキャリア形成における課題が異なる可能性があることから、求職者のキャリアや年齢等に応じた研修内容（ジョブトレーニング）となるよう実施方法について検討してはどうか。</li> <li>・支援企業の離職率の低下は、様々な要因が考えられるため、事業効果については、3年後、5年後の状況を追跡調査することも検討してはどうか。</li> </ul>
<p><b>【沖縄県】</b> 沖縄観光グローバル事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興は関連事業が多く、これまで様々な取組が展開されてきており、失敗も含めた情報共有を行い、次に繋がるよう情報プラットフォームの整備も検討してはどうか。</li> <li>・重点市場（中国、韓国等）については、沖縄観光のブランドイメージが一定程度浸透していると考えられ、費用対効果の観点から、今後は戦略開拓市場に関わる事業を重点的に実施していくことも検討してはどうか。</li> <li>・観光の質の向上を念頭に、沖縄を訪問した観光客（富裕層）に関わる指標（観光消費額、経済効果等）を成果指標に追加することも検討してはどうか。</li> <li>・沖縄は既に観光地としての地位を確立しているため、海外の観光都市を参考に成果指標を設定し、効果的・効率的なプロモーションの実施を検討してはどうか。</li> <li>・オーバーツーリズム対策も意識し、時期や訪問先の分散化も考慮したプロモーションの実施を検討してはどうか。</li> <li>・観光消費額の向上や滞在期間の延長に向けては、様々な業種業界の各事業者と一緒に盛り上げていく気運が醸成される必要があり、各事業者・関係機関の連携や地域の方々と共創を進める取組についても検討してはどうか。</li> </ul>
<p><b>【うるま市】</b> 地域雇用人材育成事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業のテレワークのニーズを十分に調査し、育成内容や募集人員の妥当性を検証し、より効率的な事業実施を目指して欲しい。</li> <li>・県や他市町村における人材育成事業とも連携・情報共有し、より効率的・効果的な事業実施に努めて欲しい。</li> <li>・企業の地域人材の雇用が、継続的な雇用に繋がるよう事業内容を工夫するとともに、3年後、5年後等の中長期的な継続雇用率を成果指標に追加することも検討してはどうか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の個別ヒアリング等も実施し、質的な調査の実施も検討してはどうか。</li> <li>・成果指標について、毎年度同様の指標ではなく、前年度の実績を踏まえた指標の設定を検討してはどうか。</li> </ul>
<p><b>【南風原町】</b> 南風原町商品展開 力強化支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い商品開発のためには、消費者ニーズの把握が重要であり、県内外のイベント参加等の販路拡大活動を積極的に実施することにより消費者ニーズを確認するとともに、商品改良や新たな認証商品の開発に繋げる仕組みを構築することも検討してはどうか。</li> <li>・「はえばる良品」の安定供給の状況や売り上げの推移等を把握するとともに、「はえばる良品」の認知度を成果指標に追加することも検討してはどうか。</li> <li>・本事業により地域内産業連関が構築されれば、材料となる農産物の確保を県南部広域へ広げることも可能であり、周辺自治体と連携した地域経済の活性化も検討してはどうか。</li> <li>・「はえばる良品」が事業者の所得や雇用にどの程度貢献できているのかも確認し、定量的に検証することも検討してはどうか。</li> </ul>

沖縄振興交付金事業等の内閣府点検評価結果  
(令和5年度 事後評価)

事業名	留意事項
【大宜味村】 カラキ活用推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"><li>・カラキの6次産業化を成功させるためには、カラキの栽培技術・生産増の講習会だけではなく、ブランディングやマーケティング、会計等の幅広い分野の講習も効果的であるので、検討してはどうか。</li><li>・カラキ（地域資源）を用いて開発した商品に関する指標（商品開発数、販売数、売上等）を成果指標に追加することも検討してはどうか。</li><li>・今後も県北部広域と連携した地域資源の活用による地域振興の推進に一層努めて欲しい。</li></ul>